

ひょうごの「農」2026

次代につなぐ  
環境と調和のとれた  
ひょうご五国の  
農林水産業・農山漁村



# 目 次

## 第1部 ひょうごの農林水産業の概要

- |                        |      |
|------------------------|------|
| 1. 多彩なひょうごの農林水産業 ..... | P1   |
| 2. 農林水産業の概要 .....      | P2~4 |

## 第2部 ひょうご農林水産ビジョン2035の概要

- |                             |        |
|-----------------------------|--------|
| 1. ビジョンの基本方向 .....          | P5     |
| 2. ビジョンの位置付け .....          | P5     |
| 3. ビジョンの計画期間 .....          | P5     |
| 4. ビジョン推進の基本姿勢 .....        | P5     |
| 5. ビジョンの基本方向1~3のイメージ図 ..... | P6~7   |
| 6. 推進項目と主な取組 .....          | P8~9   |
| 7. 「農」をめぐる最近の情勢 .....       | P10~11 |

## 第3部 2026年度施策の概要

- |  |        |
|--|--------|
| 1. ひょうご農林水産ビジョン2035施策体系と2026年度予算 ..... | P12    |
| 2. 2026年度の重要施策 .....                   | P13~17 |

この冊子は、県民のみなさんに広く手に取っていただき、ひょうごの「農」への理解をより一層深めるため、本県農林水産行政に関する情報を分かりやすくまとめたものです。

1 多彩なひょうごの農林水産業

兵庫県は、「日本の縮図」ともいわれるように、北は日本海、南は瀬戸内海に面し、中央部には中国山地が東西に横たわり、高原、平野、島々など広大で変化に富んだ地形と厳寒、降雪、乾燥、温暖という様々な気候が存在するなど、他府県に類を見ない多様な自然環境を有しています。さらに、歴史的に形成されてきた特色ある固有の風土、文化を有する摂津（神戸・阪神）、播磨、但馬、丹波、淡路といった5つの地域で構成されており、多様な自然環境のもと、それぞれの地域の気候・風土に根ざした多彩な農林水産業が営まれています。

生産量で全国順位の上位を占める農林水産物が多く、主なものとして、農産物では、山田錦（酒米）（1位）、丹波黒（黒大豆）（1位）、たまねぎ、いちじく、カーネーション、また、水産物では、シラス（1位）、イカナゴ（1位）、ノリ養殖（1位）、ホタルイカ（1位）、マダイ（1位）、ズワイガニ、ハタハタ、エビ類、スズキ類などがあります。

また、神戸ビーフ、明石鯛などは、全国的にも有名なブランドとして知られています。

地域的には淡路地域など農林水産業の盛んな地域を有する一方、人口の多い神戸・阪神地域を有する消費県でもあります。このため、食料自給率（令和5年度）は、カロリーベースでは16%（全国38%）、生産額ベースでは40%（全国61%）と全国よりも低い水準となっています。

全国上位を占める主な農林水産物

項 目	生産量等	全国シェア	全国順位	県内の主な産地	備 考（資料）	
米	山田錦【酒米】（出荷量）	18,274 t	53.7%	1	播磨地域	農林水産省「令和6年産米の農産物検査結果（確定値）」 ※山田錦出荷量は検査数量ベース
豆	丹波黒【黒大豆】（収穫量）	569 t	46.3%	1	丹波・播磨地域	県農産園芸課調べ（令和6年）
野菜	たまねぎ（収穫量）	77,600 t	6.9%	3	淡路地域	農林水産省「令和6年産野菜生産出荷統計」
	レタス（収穫量）	21,600 t	4.0%	6	淡路地域	//
	しゅんぎく（収穫量）	1,110 t	4.8%	6	神戸・阪神地域	//
	はくさい（収穫量）	17,900 t	2.2%	9	淡路地域	//
	キャベツ（収穫量）	21,900 t	1.7%	11	淡路・神戸地域	//
果実	いちじく（収穫量）	1,161 t	11.7%	4	神戸・阪神地域	農林水産省「令和4年産特産果樹生産動態等調査」
	びわ（収穫量）	82 t	3.8%	7	淡路地域	農林水産省「令和6年産果樹生産出荷統計」
	くり（収穫量）	348 t	2.5%	8	丹波・阪神地域	//
花き	カーネーション（出荷量）	15,400千本	9.0%	4	淡路地域	農林水産省「令和6年産花き生産出荷統計」
	花壇用苗もの類（出荷量）	23,400千本	4.7%	6	神戸・播磨地域	//
畜産物	生乳（生産量）	72,684 t	1.0%	15	播磨・淡路地域	農林水産省「令和6年牛乳製品統計」
	肉用牛（飼養頭数）	57,200頭	2.2%	10	淡路・播磨・阪神・但馬地域	農林水産省「令和7年畜産統計」
	鶏卵（生産量）	102,024 t	4.1%	10	播磨地域	農林水産省「令和6年畜産物流通統計」
	ブロイラー（出荷羽数）	12,985千羽	1.8%	12	但馬地域	農林水産省「令和6年畜産統計」
	はちみつ（生産量）	64 t	2.4%	13	播磨・阪神地域	農林水産省畜産振興課調べ（令和6年）
水産物	シラス（漁獲量）	15,851 t	31.5%	1	瀬戸内海	農林水産省「令和5年漁業・養殖業生産統計」
	イカナゴ（漁獲量）	1,224 t	55.7%	1	瀬戸内海	//
	ノリ養殖（収穫量）	49,836 t	24.8%	1	瀬戸内海	//
	ズワイガニ（漁獲量）	524 t	21.9%	2	日本海	//
	ハタハタ（漁獲量）	90 t	15.9%	4	日本海	//
	ホタルイカ（漁獲量）	2,664 t	74.1%	1	日本海	県水産漁港課調べ（令和5年）
	エビ類（漁獲量）	1,363 t	11.4%	2	日本海	農林水産省「令和5年漁業・養殖業生産統計」
	タコ類（漁獲量）	702 t	3.1%	6	瀬戸内海	//
	カレイ類（漁獲量）	1,506 t	4.7%	3	日本海・瀬戸内海	//
	ベニズワイガニ（漁獲量）	1,786 t	13.4%	4	日本海	//
	マダイ（漁獲量）	1,820 t	12.4%	1	瀬戸内海	//
	カキ（漁獲量）	8,407 t	5.6%	4	瀬戸内海	//
	スズキ類（漁獲量）	489 t	10.0%	2	瀬戸内海	//

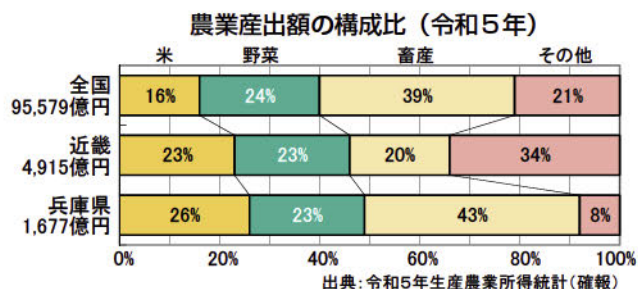
## 2 農林水産業の概要

### 農業の現状

#### ① 農業産出額

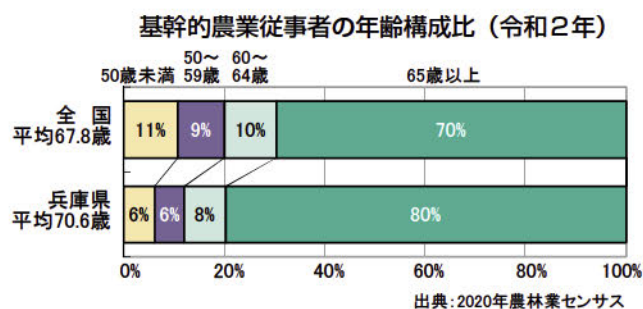
本県の農業産出額は1,677億円（全国21位）で、近畿地方（6府県）の34%を占めており、京阪神都市圏の食料生産基地として重要な地位にあります。

農業産出額の構成比を見ると、米（26%）、野菜（23%）、畜産（43%）で全体の約92%を占めており、全国と比べると米の比率が高くなっています。



#### ② 基幹的農業従事者の年齢構成

基幹的農業従事者の平均年齢は70.6歳と全国（67.8歳）よりも高く、高齢化が進行しています。

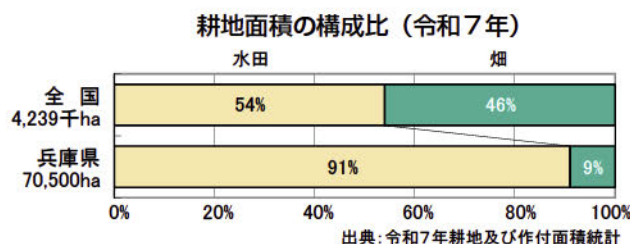


#### ③ 耕地面積

耕地面積は、70,500ha（全国18位）です。そのうち水田面積は64,500ha（全国12位）で、耕地全体に占める割合は全国（54%）と比べると極めて高く、91%となっています。

一経営体当たりの経営耕地面積は1.2haで、全国（3.1ha）の半分以下であり、小規模な経営が大半を占めています。

また、降水量の少ない瀬戸内地域や淡路地域を中心に、ため池が数多く築造されており、農業用水の約半分はため池に依存しています。



### 畜産業の現状

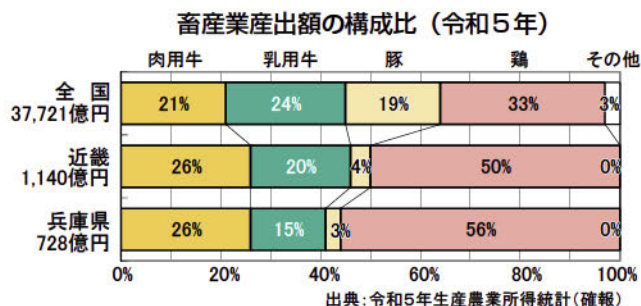
#### ① 畜産業産出額

本県の畜産業の産出額は728億円（全国14位）で、近畿地方（6府県）の64%を占めています。家畜別では、肉用牛が186億円、乳用牛が110億円、豚が20億円、鶏が411億円となっています。

#### ② 飼育状況

家畜の飼育状況は、肉用牛が57,200頭（全国10位）、乳用牛が11,600頭（全国14位）、豚20,000頭（全国37位）、採卵鶏が565万羽（全国12位）、肉用鶏が241万羽（全国12位）となっています。

肉用牛は県内全域で飼育されていますが、そのうち繁殖雌牛は45%が淡路地域で、25%が但馬地域で飼育されています。乳用牛は38%が播磨地域、33%が淡路地域で飼育されており、採卵鶏は87%が播磨地域で、肉用鶏は70%が但馬地域で飼育されています。



## 林業の現状

### ①森林面積

本県の森林面積は560,037ha（全国14位）で、県土に占める森林の割合は全国とほぼ同じ67%ですが、そのうち、個人や集落が所有している民有林は529,765haで、その割合は95%と全国と比べて極めて高い状況です。

また、民有林の42%（221,738ha）をスギ、ヒノキ等の人工林が占めており、そのうち、伐採して利用が可能とされる46年生（10年齢級）以上の森林が75%を占めています。

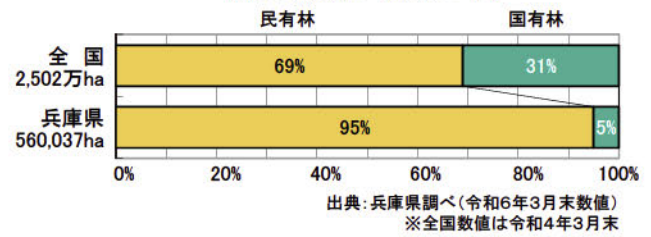
### ②林業就業者

県内林業就業者の総数は、平成12年1,485人から令和6年740人と半減するものの、60歳未満の労働者数は維持しており、年齢構成が若返ってきています。

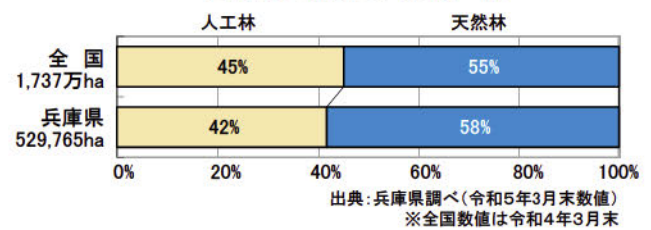
### ③林業産出額

林業産出額は40.7億円で、このうち木材生産は30.6億円（75%）であり、針葉樹の産出額が97%を占めています。また、栽培きのこ類は7.6億（19%）で、このうち、生しいたけが92%を占めています。

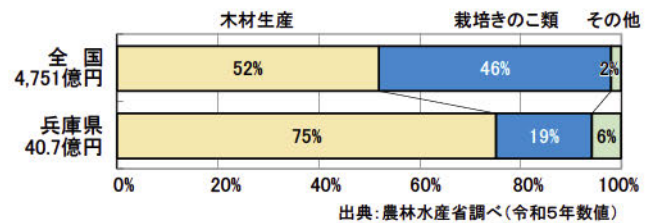
森林の構成比（令和5年）



民有林の構成比（令和5年）



林業産出額の構成比（令和5年）



## 水産業の現状

### ①漁業産出額

本県の漁業産出額は609億円で、全国8位（シェア4%）に位置するとともに、近畿地方（6府県）の70%を占めています。

### ②日本海の特徴

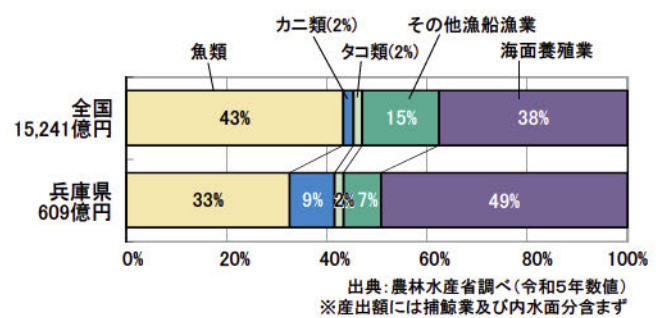
日本海では、冬季風浪が厳しく、浅海域が少ないことから、大型船による沖合漁業が中心で、ズワイガニ、エビ類、ベニズワイガニ、ホタルイカ、カレイ類、ハタハタなどが漁獲されています。

### ③瀬戸内海の特徴

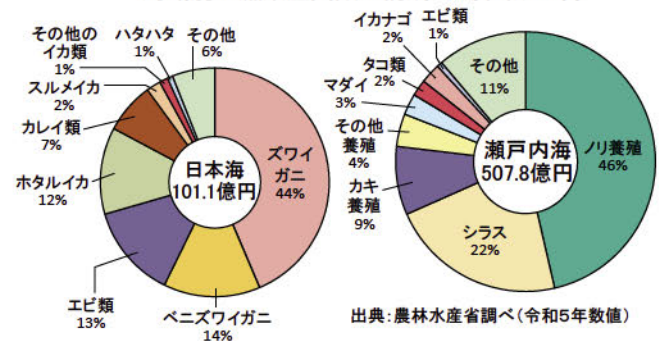
瀬戸内海では、比較的水深が浅く、波浪が穏やかなことから、10t未満の小型船による沿岸漁業が中心となり、シラス、マダイ、タコ、イカナゴなどが漁獲されています。また、ノリやカキ等の養殖業も盛んで、特にノリ養殖の生産額は236億円と瀬戸内海の漁業産出額の46%を占めています。

シラス、イカナゴ、ホタルイカ、マダイ、ノリ養殖が全国1位、エビ類、ズワイガニ、スズキ類が同2位など、生産量が全国順位の上位を占める水産物も多く、重要な地域資源として各地域の活性化に寄与しています。

漁業産出額の構成比（令和5年）



海域別の漁業産出額の構成比（令和5年）





## めざす姿

次代につなぐ環境と調和のとれた  
ひょうご五国の農林水産業・農山漁村

## ① ビジョンの基本方向

## 基本方向1 収益性の高い農林水産業の実現

都市近郊の立地や多様な自然環境など兵庫県の強みを活かすとともに、新たな品種の開発・導入やスマート技術などを活用し、環境と調和のとれた、生産性の高い力強い農林水産業の展開を目指します。

## 基本方向2 にぎわいのある農山漁村の創出

自然災害への対応として、計画に基づく防災・減災対策や新たな森林整備手法などが進み、農山漁村コミュニティが維持・発展するとともに、都市部と農山漁村の交流が活発に行われ、地域活性化や地域資源を活用したビジネス創出の実現を目指します。

## 基本方向3 県民とともに育む豊かな食と「農」の充実

福祉、観光、教育など多様な分野との連携が強化され、県民がひょうごの「農」とつながることで、県民や農林漁業者の健康で豊かな暮らしの実現を目指します。

## ② ビジョンの位置付け

本県農林水産行政推進の基本となる計画的かつ総合的な指針です。

また、農林水産業従事者のみならず、農山漁村や都市で暮らす人々などの県民、さらにインバウンドによる観光旅行者等、本県の食と「農」に関わるすべての人々を対象とした行動指針です。

## ③ ビジョンの計画期間

このビジョンの計画期間は、令和8年度から令和17年度（2035年度）までの10年間とします。

## ④ ビジョン推進の基本姿勢

「施策の計画立案（Plan）→農林水産ビジョン2035及び地域アクションプラン（各地域の特性に応じて作成した施策の実行計画）等に基づく施策の展開（Do）→ひょうごみどり白書による評価・検証（県民とともに点検（Check））→改善（新たな施策の企画立案（Act））」により、ビジョンを推進します。



ひょうご農林水産ビジョン2035は兵庫県ホームページにて公開しています。  
こちらからご覧いただけます。

[https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk02/af02\\_000000036.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk02/af02_000000036.html)

# 5 ビジョンの基本方向1～3のイメージ図

## 基本方向1 収益性の高い農林水産業の実現

**【林業の生産者】**  
高精度な森林資源データのおかげで、森林所有者に詳細な施業提案を行うことができ、また、高性能林業機械による施業の低コスト化やJ-クレジット制度等による企業からの支援もあり、森林資源の循環利用が進みつつあります。

**主伐・再造林**

**高性能林業機械**

**【畜産業の生産者】**  
スマート機器や暑さ対策技術のおかげで管理がしやすくなって生産性が向上しました。耕畜連携で堆肥の利用が進み、飼料作物も増産されているので増頭がしやすくなりました。改良も進んで国内外への県産畜産物の供給が増えています。

**スマート畜産技術**

**【農業の生産者】**  
広い農地がまとまっているので、スマート農業技術が活用しやすくなりました。後継者もできて、農業支援サービス事業者も活用しながら規模拡大しています。気候変動に強い品種や技術も取り入れながら人と環境にやさしい農業を実践しています。

**スマート農業技術**

**6次産業化**

**有機農業**

**異業種連携**

**【流通・食品産業事業者】**  
地元の農林水産物を活かした商品開発が進み、消費者の支持を得ています。生産者との連携も強化され、安定供給と地域ブランドの確立が進んでいます。

**スマート農業技術**

**スマート農業技術**

**食品事業者**

**【水産業の生産者】**  
栄養塩類の管理や種苗放流などのおかげで資源が回復して、「豊かな海」が戻ってきました。コスト低減も進んでいて、収益性がアップしているので、次世代につなぐことができます。

**省エネ型漁船**

**海外輸出**

**種苗放流**

**クマエビ**

**兵庫県マスコットはばタン**

**コ・ノ・ホ・シ**

**うま 美味し風土**

**JAS**

**不要果樹の伐採**

**ため池のかいぼり**

**ため池防災工事**

**半農半X**

**防波堤の改良工事**

**漁港の耐震化**

**港口水門**

## 基本方向2

**保安林**

**里山林の整備**

**ため池のかいぼり**

**不要果樹の伐採**

**ため池防災工事**

**半農半X**

**防波堤の改良工事**

**漁港の耐震化**

**港口水門**

## にぎわいのある 農山漁村の創出



**【農山漁村に住む県民】**  
農村RMOを立ち上げて、農地や水路の保全、コミュニティの維持活動が行われ、地域が活気づいています。半農半Xに取り組む人や自給的農家など多様な人材が大規模経営体と協力して持続的な地域づくりをしています。

**【農林水産業の生産者】**  
農林水産物や食文化、景観などの地域資源を活用した農山漁村ビジネスが生み出され、地域に来てくれる方が増えています。  
**【農林水産業・農山漁村に接する県民】**  
CSAなどを利用することによって、生産者との交流機会が増えました。

## 基本方向3 県民とともに育む豊かな食と「農」の充実



**【農林水産業・農山漁村に接する県民】**  
オープンファームで農作業体験や農家の声を聞くことができ、興味が深まったので親子で水産業や林業のイベントにも参加するようになりました。農林水産業・農山漁村の大切さを実感したため、積極的に県産農林水産物を買うようになりました。

**【学校給食関係者】**  
地元産の食材を使った給食の提供機会が増え、子どもたちの食農教育にもつながっています。生産者との交流や体験学習を通じて、食の大切さや地域の農林水産業への理解が深まっています。

## 6 推進項目と主な取組

### 基本方向1 収益性の高い農林水産業の実現

#### (1) 人と環境にやさしい農業の推進と地域の特色・立地を活かした農業の展開

- 人と環境にやさしい農業の推進…有機農業アカデミーにおける担い手育成、有機農産物等の流通・販売拡大、病虫害対策技術の改善
- 生産性向上による競争力強化…スマート農業技術の導入、高温耐性品種の開発・普及、農業支援サービス事業者による請負推進
- 担い手の確保・育成、ニーズに応じた農地整備…担い手の確保・育成、法人化支援、農地の大区画化、中小規模経営体への営農継続支援
- 農地の確保と効率的な利用の促進…地域計画の定期的な見直し、規模拡大志向農家への農地集積・集約化

#### (2) 需要に応える持続可能な畜産業の推進

- 環境と調和のとれた畜産技術の推進と持続可能な畜産業の実現…暑熱ストレス低減技術の推進、暑熱耐性乳用牛の研究、スマート機器を活用した飼養管理の推進、耕畜連携による堆肥の利活用
- 需要に応じた神戸ビーフの供給…ゲノム情報を用いた但馬牛の改良、優秀な繁殖雌牛の導入や牛舎・機械等の整備支援、但馬牛受精卵移植の取組推進

#### (3) 資源循環型林業の推進と木材利用の拡大

- 森林資源の循環利用と林業経営の効率化…主伐・再造林の推進、CO<sub>2</sub>固定効果の見える化、J-クレジットの創出、企業等との連携
- 森林経営管理制度の推進と森林の多面的機能への県民の理解醸成…森林経営管理制度を運用する市町への支援
- 県産木材の利用拡大と加工流通体制の強化…非住宅建築物及び非建築分野での県産木材の活用推進

#### (4) 豊かな海と持続的な水産業の実現

- 豊かな海の再生…イカナゴの肥育試験、ナマコ・クマエビ・アサリ等の種苗放流、マダコの量産技術開発
- 海域環境の変化に対応した水産資源の適正管理と水産技術の開発・普及…水温上昇などに対応したノリ・ワカメの品種開発、マガキの生産管理手法の確立、トラフグ等の魚類養殖の育成・強化
- 漁業の担い手の確保・育成と経営力の強化…シラスやハモ等の既存資源、クロダイ等の低・未利用魚の付加価値向上

#### (5) ブランド力を活かした攻めの農林水産業の展開

- 国内外での販路開拓による経営体の収益力の向上…輸出促進プロモーション、兵庫県認証食品の認知と流通の拡大
- 県産農林水産物の新たな価値の創出…異業種との連携支援、6次産業化の推進

#### (6) 食の安全を支える生産体制の確保

- 適正な生産・監視体制の推進
- 重大家畜伝染病の発生・まん延防止



水田での生きもの調査



自動運転田植機、キヌヒカリに替わる新品種「コ・ノ・ホ・シ」



搾乳ロボットによる自動搾乳



県産スギ材を使用した県立総合射撃場（三木市）



マナマコ種苗（約5～30mm）



ノリの既存種（左）と高温耐性候補品種（右）の成長比較



海外での県産品プロモーション

## 基本方向 2 にぎわいのある農山漁村の創出

### (7) 農山漁村コミュニティづくりによる地域資源の管理

- 地域協働体制を担う多様な人材の確保…農村 RMO の形成促進、農村ボランティア、半農半 X や自給的農家などの「農」に携わる人材確保
- 野生鳥獣の捕獲や被害対策に向けた体制づくり…総合射撃場を活用した狩猟者育成、ナガエツルノゲイトウ等の特定外来生物防除対策の確立・普及
- 良好な空間の保全…多面的機能を有する農地や水路等の維持保全活動の支援
- 都市と農林水産業・農山漁村の交流による地域活性化…定住・二地域居住、CSA の取組拡大推進



都市住民による稲の収穫体験  
(三田市)

### (8) 地域資源を活かした農山漁村ビジネスの創出

- 地域資源の活用などの実践活動の推進…自然や景観、歴史文化等の地域資源を活用した事業等の創出、内水面におけるアユやアマゴ等の増殖支援



新商品開発に向けた支援の様子  
(豊岡市)

### (9) 農山漁村の防災・減災対策の推進

- ため池災害等の未然防止と避難対策
- 山地防災・土砂災害対策の推進
- 漁港の耐震化と津波・高潮防災対策の推進

### (10) 豊かな森づくりの推進

- 森林の防災機能の強化…災害に強い森づくりの推進、ボランティアの参画推進
- 県民総参加による森づくりの推進…教育機関、企業等との連携を通じた普及啓発、県民への理解醸成、税や寄付・募金等を活用した取組の推進



企業の森づくり活動の様子

## 基本方向 3 県民とともに育む豊かな食と「農」の充実

### (11) 「農」と多様な分野との連携強化

- 観光・環境等分野との連携強化…農福連携のマッチング支援、農泊・農業遺産等を活かした交流の場の創出、海業の推進
- 食農教育の推進…県産県消や有機農産物等の価値啓発、学校給食への県産食材供給支援、ひょうごオープンファームの取組推進等による県民の理解醸成



農泊の体験プログラム(サイクリングツアー)の様子(姫路市)

### (12) 県民とのつながりで育む食と「農」

- 県産県消の推進…有機農産物等の出荷・流通体制の構築、直売所の魅力向上、低・未利用魚の学校給食での活用や加工品開発、魚食普及活動支援
- 農林水産業・農山漁村への県民の理解醸成…ごはん食やお米の価格形成に対する理解醸成、農林漁業者等の SDGs の取組推進
- 楽農生活の推進…市民農園の整備、半農半 X などの研修、親子農業体験



料理教室の様子

### (13) 県民への安定的な食料供給

- 卸売市場を通じた安定供給の確保…卸売市場の集荷力・販売力強化、品質・衛生管理の強化、BCP の策定推進
- 消費者の信頼の確保…適正な食品表示の推進、食品衛生・品質管理の向上支援



品質・衛生管理体制を強化した閉鎖型の姫路市中央卸売市場

## 7 「農」をめぐる最近の情勢

### (1) 人と環境にやさしい農業の推進 ～人と環境にやさしい農業・農村振興条例の制定～

#### ・背景

SDGsの取組拡大や国の「みどりの食料システム戦略」の推進、有機農業を振興する市町の増加など、環境と調和のとれた持続可能な農業推進の必要性は増大しています。一方、気候変動や地政学的リスクの高まりにより、食料生産・供給が不安定化するとともに、人口減少により農山漁村の活力は低下しています。

また、兵庫県では全国に先駆けて30年以上前から人と環境にやさしい「環境創造型農業」に取り組み、取組面積は大幅に拡大してきましたが、近年は拡大が頭打ちとなっています。

#### ・条例制定の経緯・目的

上述の背景を踏まえ、本県では令和5年度から有識者による有機農業等の振興施策検討会を設置し、その提言に基づき、有機農業アカデミーの開講（令和8年4月）や出荷・流通効率化モデルの構築、「コウノトリと、トキと、食・地域の未来と。～兵庫県・豊岡市×新潟県・佐渡市 環境創造型農業サミット～」の開催（令和7年6月）など、有機農業等の担い手育成や出口対策施策に先行して取り組んでいます。

有機農業をはじめとした人と環境にやさしい農業やその基盤となる農村の持続的な発展のため、生産や地域での活動に加えて消費者が買い支える機運を醸成し、推進の取組を中長期的に下支えることが重要であり、県民全体が理念を共有して取り組む必要があるため、条例を制定しました。

#### ・ひょうご農林水産ビジョン2035との連動

条例制定により、人と環境にやさしい農業・農村振興の理念を広く発信し、本県の農林水産業・農山漁村に関する各種施策の基本となるひょうご農林水産ビジョン2035において具体的な施策展開を示すことにより、条例、ビジョンの両輪で人と環境にやさしい農業・農村の振興に取り組んでいきます。

#### ・有機農業アカデミーの開講

有機農業の更なる取組拡大を進めるため、「経営として成り立つ有機農業」を実践できる担い手の育成を目的として、令和8年4月、県立農業大学校において「有機農業アカデミー（有機農業課程）」を開講します。

本課程では、有機農業を生産から販売まで体系的に学ぶことができ、実践的な栽培技術の習得を重視した実習中心のカリキュラムとしています。加えて、先進農家と連携した講義・実習を通じて在学中から先進農家や地域との関係づくりを進めるとともに、流通・販売事業者による講義により、就農後を見据えた経営力の習得を図ります。

開講に先立ち令和7年に実施したプレコースでは、土づくりから野菜栽培の収穫までを一連で体験する講義・実習を行ったところ、参加者は積極的に質問しながら熱心に取り組むなど、有機農業への高い関心がうかがえました。



人と環境にやさしい農業・  
農村振興検討会



環境創造型農業サミットにおける  
豊岡市・佐渡市の小学生の発表（豊岡市）



有機農業アカデミー教育棟（加西市）



有機農業アカデミープレコース  
（土づくりの講義）



有機農業アカデミープレコース  
（野菜の収穫）

## (2) ハラル牛肉の輸出拡大に向けた取組 ～三田食肉センター輸出拡大コンソーシアム～

三田食肉センターは平成28年以降、ハラル牛肉（イスラム教の教義に従い、ムスリムが安心して食べられるように宗教的な規定に基づいて処理された牛肉）のイスラム圏諸国への輸出認証を順次取得し、令和7年7月にはインドネシア向けの初輸出が実現しました。

更なる輸出拡大に向けて同食肉センターや輸出事業者等で構成される「三田食肉センター輸出拡大コンソーシアム」では、日本語、英語、アラビア語に対応した専用ホームページを開設し、ハラル牛肉の生産体制や安全性等を紹介して、世界中のムスリムに向けてハラル牛肉をPRしました。

また、サウジアラビア及びマレーシアに赴き、但馬牛の歴史や生産工程を紹介するとともに、神戸ビーフの試食会を通じ、品質の高さや牛肉の部位ごとの多彩な魅力をPRしました。

これらの取組の結果、ホームページへのアクセス件数が増え、海外からも問い合わせが寄せられるようになりました。



アラビア語で紹介する  
三田食肉センターホームページ



マレーシアでのプロモーション  
(R7.2月)

## (3) 脱炭素社会実現に向けた主伐・再造林の推進

県内の人工林の約8割以上が樹齢46年以上となり、成熟化が進んでいます。森林は、適切な整備を行うことで大気中のCO<sub>2</sub>を吸収・固定し、地球温暖化の防止に寄与しています。特に若い樹木はより多くのCO<sub>2</sub>を吸収するため、高齢化した人工林を伐採し、その後、確実に再造林を行うことが極めて重要です。

しかし、主伐後の植林や保育施業に係る費用に加え、シカによる食害を防ぐための防護柵の設置など、追加のコストが発生することから、主伐・再造林の取組が大きな広がりとなっていないのが現状です。

こうした課題に対応するため、兵庫県では、令和7年度から企業版ふるさと納税の寄付金を活用して「脱炭素社会の実現に向けた主伐・再造林推進事業」を展開し、再造林や保育に対し、従来の補助金への上乗せ支援を行っています。

今後、森林が有するCO<sub>2</sub>吸収・固定効果の「見える化」を行うとともに、広くPRすることで、森林の機能に対する県民の理解醸成に取り組めます。



CO<sub>2</sub>吸収効果が期待される植栽地  
(多可町)

## (4) イカナゴ肥育放流試験の実施

イカナゴは「春告魚」とも言われ、特にシンコ（新子）と呼ばれる稚魚は「くぎ煮」として親しまれている本県の重要な漁獲対象種です。しかし、近年は資源量が減少しており、大阪湾では漁業者が2年連続で自主休漁するなど、深刻な状況が続いています。

水産技術センターの研究の結果、瀬戸内海の貧栄養化による餌不足等が原因でイカナゴの肥満度が経年的に低下しており、肥満度の低下が産卵数の減少に関係していることが明らかになっています。

天然資源の増加を図るため、令和7年度、漁業者や関係機関が連携の上、夏眠前にイカナゴを人為的に太らせた上で再放流する飼育試験を全国で初めて実施しました。

海上及び陸上での飼育試験を実施し、どちらの試験でもイカナゴは配合餌料をよく食べて順調に成長し、肥満度も大きく増加したため、これらの個体が夏眠後の産卵数増加に寄与できる可能性が示唆されました。



夏眠前にへい死した痩せたイカナゴ



飼育試験中のイカナゴ

1 ひょうご農林水産ビジョン 2035 施策体系と 2026 年度予算

【めざす姿】【基本方向】

【推進項目】

【推進方策】

次代につなぐ環境と調和のとれたひょうご五国の農林水産業・農山漁村

1 収益性の高い農林水産業の実現  
36,947 百万円

<p><b>1 人と環境にやさしい農業の推進と地域の特色・立地を活かした農業の展開</b> (7,306 百万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I 人と環境にやさしい農業の推進</li> <li>II 生産性向上による競争力強化</li> <li>III 次代を担う経営力の高い担い手の確保・育成</li> <li>IV 人材の確保に向けた環境の整備</li> <li>V 地域・担い手のニーズに応じた農地整備</li> <li>VI 農地の確保と効率的な利用の促進</li> <li>VII 都市農業の推進</li> </ul>
<p><b>2 需要に応える持続可能な畜産業の推進</b> (604 百万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I 環境と調和のとれた畜産技術の推進と持続可能な畜産業の実現</li> <li>II 畜産業の担い手の確保・育成</li> <li>III 需要に応じた神戸ビーフの供給</li> </ul>
<p><b>3 資源循環型林業の推進と木材利用の拡大</b> (23,512 百万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I 森林資源の循環利用と林業経営の効率化</li> <li>II 森林経営管理制度の推進と森林の多面的機能への県民の理解醸成</li> <li>III 次代を担う林業事業者の確保・育成</li> <li>IV 県産木材の利用拡大と加工流通体制の強化</li> </ul>
<p><b>4 豊かな海と持続的な水産業の実現</b> (1,946 百万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I 豊かな海の再生</li> <li>II 海域環境の変化に対応した水産資源の適正管理と水産技術の開発・普及</li> <li>III 漁業の担い手の確保・育成と経営力の強化</li> </ul>
<p><b>5 ブランド力を活かした攻めの農林水産業の展開</b> (535 百万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I ブランド化による付加価値向上</li> <li>II 国内外での販路開拓による経営体の収益力の向上</li> <li>III 県産農林水産物の新たな価値の創出</li> </ul>
<p><b>6 食の安全を支える生産体制の確保</b> (3,043 百万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I 適正な生産・監視体制の推進</li> <li>II 重大家畜伝染病の発生・まん延防止</li> </ul>

2 にぎわいのある農山漁村の創出  
24,320 百万円

<p><b>7 農山漁村コミュニティづくりによる地域資源の管理</b> (6,066 百万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I 地域協働体制を担う多様な人材の確保</li> <li>II 野生鳥獣の捕獲や被害対策に向けた体制づくり</li> <li>III 良好な空間の保全</li> <li>IV 都市と農林水産業・農山漁村の交流による地域活性化</li> </ul>
<p><b>8 地域資源を活かした農山漁村ビジネスの創出</b> (410 百万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I 地域資源の活用などの実践活動の推進</li> <li>II バイオマスの利用拡大を通じた地域資源の活用</li> </ul>
<p><b>9 農山漁村の防災・減災対策の推進</b> (14,667 百万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I ため池災害等の未然防止と避難対策</li> <li>II 山地防災・土砂災害対策の推進</li> <li>III 漁港の耐震化と津波・高潮防災対策の推進</li> </ul>
<p><b>10 豊かな森づくりの推進</b> (3,177 百万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I 森林の適正管理による公益的機能の維持・向上</li> <li>II 森林の防災機能の強化(県民緑税の活用)</li> <li>III 森林病虫害対策の推進と保安林制度等の適正運用</li> <li>IV 県民総参加による森づくりの推進</li> </ul>

3 県民とともに育む豊かな食と「農」の充実  
1,875 百万円

<p><b>11 「農」と多様な分野との連携強化</b> (458 百万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I 農福連携の取組拡大</li> <li>II 観光・環境等分野との連携強化</li> <li>III 食農教育の推進</li> </ul>
<p><b>12 県民とのつながりで育む食と「農」</b> (199 百万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I 県産県消の推進</li> <li>II 農林水産業・農山漁村への県民の理解醸成</li> <li>III 楽農生活の推進</li> </ul>
<p><b>13 県民への安定的な食料供給</b> (1,218 百万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I 卸売市場を通じた安定供給の確保</li> <li>II 生産から消費を結ぶ仕組みづくり</li> <li>III 消費者の信頼の確保</li> </ul>

※予算額は 10 万円単位で四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

## 2 2026年度の重要施策

### 施策展開方向

環境と調和のとれた持続可能な農林水産業・農山漁村を実現すべく、都市近郊の立地や多様な自然環境などの強みを活かし、県民が一堂に「農」のめぐみを楽しむ豊かな暮らしを次世代につなぐ取組を推進します。

このため、コスト構造の改革に加え、環境負荷の低減や、有機農業の担い手育成、スマート農業技術の普及・定着、気候変動に対応した技術開発や普及に取り組むとともに、副業等も含め多様な人材の地域農業への関わりを創出することにより持続可能な地域づくりを推進します。

また、資源循環型林業の推進や森林の公益的機能の維持・向上と併せて県民の理解醸成を図るほか、豊かな海を再生する取組や担い手の確保・育成と経営力の強化、イカナゴの肥育放流や播磨の養殖マガキの不漁に対する支援等を進め、持続的な水産業の実現を推進します。

さらに、県産農林水産物の付加価値を高め、国内・海外市場での流通・販売を拡大していくために、地域に人を呼び込む取組や、生産者と消費者が支え合う関係づくり、県産有機農産物等の学校給食での活用等を推進し、消費者理解の醸成を図ります。

大項目		取組内容の項目
1	人と環境にやさしい農業の推進	①人と環境にやさしい農業の取組拡大
		②有機農業の担い手育成の強化
		③人と環境にやさしい農業で育まれた農産物の流通・販売等の拡大
2	生産性向上による競争力の強化	①スマート農業技術普及の核となる人材育成等の推進
		②持続可能な地域農業の実現に向けた「農地整備」の推進
3	気候変動に負けない農業生産体制の確立	①水稻オリジナル品種の開発・普及と革新的な技術の導入推進
		②野菜等の高温対策技術の実証・普及の推進
		③渇水・高温に対する支援
4	多様な人材の確保・育成による担い手構造の改革	①「地域計画」の実現に向けた取組の推進
		②新規就農者の確保・育成支援
5	需要に応える持続可能な畜産業の推進	①但馬牛の生産拡大による神戸ビーフの供給力強化
		②持続可能な畜産業の実現
		③耕畜連携の推進
6	重大家畜伝染病の発生・まん延防止対策の徹底	○飼養衛生管理の徹底と実効性の高い防疫対策の構築
7	資源循環型林業の推進と木材利用の拡大	①主伐・再造林の推進
		②市町支援による森林経営管理制度の推進
		③次代を担う林業就業者の確保・育成
		④県民・企業への理解醸成による県産木材の利用拡大
8	県民総参加による豊かな森づくりの推進	①「災害に強い森づくり(第5期対策・第4期追加対策)」の推進
		②社会全体で支える森づくりの推進
9	豊かな海と持続的な水産業の実現及び漁村の活性化	①豊かな海を再生する取組等の推進
		②担い手の確保・育成と経営力の強化
		③漁村の活性化に向けた「海業」の推進
10	ブランド力を活かした国内外での販路開拓	①県内での取組支援
		②国内での販路拡大支援
		③海外向けプロモーション等の展開
11	特色を活かした活力ある地域づくりの推進	①農村 RMO の取組促進
		②定住・二地域居住の促進や半農半 X の実践者の拡大
12	ため池災害等の未然防止と避難対策の推進	①ため池の適正管理の推進と防災工事等の実施
		②減災・避難対策の推進
13	県民とともに育む豊かな食と「農」の充実	①農福連携の取組強化
		②学校給食での県産食材の利用促進と食農教育の推進
		③生産者と消費者が互いに支えあえる関係づくりの推進

## 重要施策1 人と環境にやさしい農業の推進

人と環境にやさしい農業の取組拡大に向け、環境負荷低減技術の実証・普及と県民への広報及び有機農業の担い手育成を進めるとともに、流通体制の構築を図ります。

### 取組内容

#### ① 人と環境にやさしい農業の取組拡大

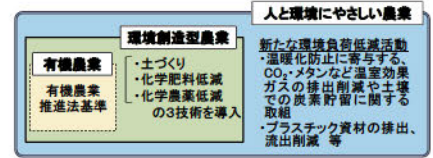
人と環境にやさしい農業・農村振興条例の制定を契機として、農業者が取り組みやすい環境負荷低減技術を実証し、普及するとともに、広く県民に応援してもらえるよう広報等を実施

#### ② 有機農業の担い手育成の強化

県立農業大学校に有機農業アカデミーを開講し、「経営として成り立つ」有機農業の新たな担い手育成のため、栽培実習に加え、先進農家や流通事業者と連携した経営・流通の講義等により、円滑な就農と販路開拓を支援

#### ③ 人と環境にやさしい農業で育まれた農産物の流通・販売等の拡大

有機農産物等を、県民にとってより身近なものとするため、出荷コスト・労力を削減し、消費者が量販店等で日常的に購入できる効率的な出荷・流通モデルの構築を支援



人と環境にやさしい農業の定義

## 重要施策2 生産性向上による競争力の強化

農作業の省力化や作業軽減等による生産性の向上を図るため、スマート農業技術の導入を支援するとともに、農地の大区画化や排水改良などを進めます。

### 取組内容

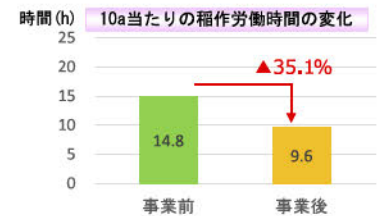
#### ① スマート農業技術普及の核となる人材育成等の推進

専門家による産地とスマート農業技術のマッチング、各地域で技術普及の核となる人材の育成、県独自のスマート農業技術の開発・普及を推進

中小規模の農業者ではスマート農業機械の購入は過剰投資となることから、共同利用の推進や、スマート農業機械を活用する農業支援サービス事業体を育成

#### ② 持続可能な地域農業の実現に向けた「農地整備」の推進

地域計画に基づき担い手への農地の集積・集約化を推進するほか、「農地整備10箇年推進プログラム」に基づき、大区画化・パイプライン化などスマート農業の導入に対応した農地整備や、畑作物導入を促進する暗渠排水工（農地の排水改良）を実施



農地整備による稲作労働時間の短縮

## 重要施策3 気候変動に負けない農業生産体制の確立

高温に対応した品種の開発や、安定生産に向けた技術の実証・普及を図るとともに、干ばつ被害防止のための農業者への支援を進めます。

### 取組内容

#### ① 水稻オリジナル品種の開発・普及と革新的な技術の導入推進

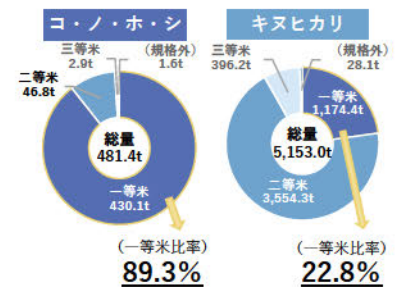
高品質な米の安定生産を図るため、水稻新品种「コ・ノ・ホ・シ」の普及と、ヒノヒカリに替わる新品种の令和10年の一般栽培開始に向けた試験栽培の実施など、高温耐性品種の開発を促進するとともに、生産性向上につながる革新的な生産コスト低減・省力化技術の導入を推進

#### ② 野菜等の高温対策技術の実証・普及の推進

高温や渇水の影響による野菜等の収量減少や品質低下等の被害を防止し、安定生産を図るため、産地単位で高温対策技術等を実証・普及

#### ③ 渇水・高温に対する支援

渇水時等も営農が継続できるように、ポンプの設置・運転などによる用水の応急確保に取り組む農業者を支援



コ・ノ・ホ・シとキヌヒカリ（従来品種）の一等米比率【令和7年12月末現在】

## 重要施策4 多様な人材の確保・育成による担い手構造の改革

地域計画の実現に向けた取組支援や、担い手確保を進めるとともに、就農支援の強化を行い、持続可能な地域農業を支える体制づくりを推進します。

### 取組内容

#### ① 「地域計画」の実現に向けた取組の推進

本庁・県民局に設置した部局横断のチームによる農地・担い手関連施策の地域への一体的働きかけや、市町担当職員研修を実施

担い手が不足する地域への外部人材の呼び込みに加え、区域をまたぐ担い手への円滑な農地の集積・集約化につながる計画の広域化など実効性のある計画へのブラッシュアップを促進

## ② 新規就農者の確保・育成支援

就農支援センターによる就農相談から就農後の定着まで一貫した支援に加えて、経営継承に係る相談・指導を実施

稲作の担い手を確保・育成し、県産米の安定供給・集落の維持を図るため、就農希望者（雇用就農や兼業・副業を希望する者を含む）が、地域の親方農家の指導の下で稲作経営の知識・技術を実践的に学ぶことのできる研修を実施



地域計画の話し合い（福岡町）

## 重要施策5 需要に応える持続可能な畜産業の推進

空き牛舎等の既存資源を活用した新規就農者とのマッチング機会の創出などにより、但馬牛繁殖雌牛の増頭を図るとともに、気候変動等への対応技術や生産性向上に向けた機器の導入等を支援します。

### 取組内容

#### ① 但馬牛の生産拡大による神戸ビーフの供給力強化

「畜産参入支援センター」で但馬牛生産者などを対象に今後の牛舎や用地活用の意向を調査し、その所有者と後継者や就農希望者、規模拡大意欲のある生産者とのマッチングの機会を増やすとともに、新たに必要となる牛舎整備や改修を支援

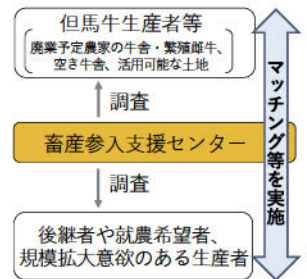
また、乳牛への受精卵移植に加え、繁殖データを分析・調査し、分娩間隔の短縮に向けた取組を推進

#### ② 持続可能な畜産業の実現

温室効果ガスの低減や暑熱対策に向けた取組を推進するとともに、特に酪農業の生産性向上を図るため、スマート機器の導入支援や「ゲノミック評価検査」を活用した長命連産能力に優れた牛群への転換を促進

#### ③ 耕畜連携の推進

飼料や肥料の価格が高止まりしている中、輸入依存度の低減のため、飼料増産や家畜堆肥の利用に係る機械・設備の導入を支援



畜産参入支援センターによるマッチング（イメージ）

## 重要施策6 重大家畜伝染病の発生・まん延防止対策の徹底

高病原性鳥インフルエンザや、豚熱、アフリカ豚熱、口蹄疫の発生予防対策と発生時のまん延防止対策をより一層強化します。

### 取組内容

#### ○ 飼養衛生管理の徹底と実効性の高い防疫対策の構築

農場への立入指導による飼養衛生管理基準の遵守を徹底するとともに、発生リスクの低減のための施設整備を支援し、発生予防対策を強化

農場毎防疫作業計画をより実効性のある内容に高め、早期通報の徹底や防疫訓練によりまん延を防止



アフリカ豚熱防疫演習（模擬イノシシ死体の運搬）

## 重要施策7 資源循環型林業の推進と木材利用の拡大

主伐・再造林の推進や森林経営管理制度の推進に向けた市町支援の強化に加え、担い手の確保・育成や企業等への理解醸成による県産木材の利用拡大に取り組みます。

### 取組内容

#### ① 主伐・再造林の推進

主伐後の再造林などに係る所有者負担を軽減するため、J-クレジットや企業版ふるさと納税など森林に資金が循環する仕組みを通じて主伐・再造林を推進

#### ② 市町支援による森林経営管理制度の推進

分取林契約の解約地を中心に、森林経営管理制度による森林の公的管理を推進するため、県と（公社）ひょうご農林機構による兵庫県森づくり支援センターの枠組みにより、市町支援を強化

#### ③ 次代を担う林業事業者の確保・育成

社会人向けの森林・林業入門講座等による担い手の確保や、小学生の自然学校での体験プログラムを作成し楽しみながら森林・林業を学べる機会を設け、林業が将来の仕事の選択肢となるよう取組を展開

#### ④ 県民・企業への理解醸成による県産木材の利用拡大

県産木材の魅力や利用の社会的意義を知っていただけるよう、木材団体等と連携したイベント出展、異業種・異分野とのコラボによる多様で新たな価値の創出や情報発信、民間企業との建築物木材利用促進協定の締結を進めるなど、県民・企業への理解醸成を図る取組を展開



炭素吸収源対策に貢献する主伐・再造林の取組（朝来市）

## 重要施策8 県民総参加による豊かな森づくりの推進

記録的な豪雨や台風による被害の甚大化・頻発化や、野生動物被害の深刻化を踏まえ、県民緑税を活用し森林の防災機能を強化するとともに、県民や企業が参画する森づくりを推進します。

### 取組内容

- ① 「災害に強い森づくり（第5期対策・第4期追加対策）」の推進  
手入れ不足の人工林を中心に流域全体を一体的に整備できる「流域の森整備」を新設するとともに、六甲山系周辺の災害の発生しやすい区域までエリアを広げて「都市山防災林整備」を強化
- ② 社会全体で支える森づくりの推進  
水資源の涵養や山地災害の防止など森林が有する多面的機能への理解を深めるため、ひょうご里山フェスタ等のイベントや高校生向け出前講座の実施などの取組を推進  
森林ボランティアの次世代リーダーの育成や、企業の取組についてフォーラム等を通じて紹介することで、すべての世代や企業による森づくり活動を支援



森林の多面的機能に関する出前講座  
(神戸甲北高校)

## 重要施策9 豊かな海と持続的な水産業の実現及び漁村の活性化

漁業者による豊かな海を再生する取組の支援や、資源回復等に向けた技術の開発・調査研究を推進するとともに、担い手の育成と経営力強化を進めます。

また、漁村の活性化を図るため、漁港の多様な利活用に向けた取組を推進します。

### 取組内容

- ① 豊かな海を再生する取組等の推進  
漁業者による海底耕うんや海底への施肥など、藻場や浅場を維持・回復する取組を支援  
イカナゴの肥育放流に対する支援、アサリ等の種苗生産・放流やマダコの量産技術開発に加え、環境の変化に対応したノリの品種開発、播磨の養殖マガキの不漁の原因解明や新たな養殖手法の調査研究等を実施
- ② 担い手の確保・育成と経営力の強化  
漁業後継者を確保するため、漁船等の貸与制度により、新規漁業就業者等の設備投資の負担を軽減するとともに、新規漁業者の現場研修を支援  
収益性の高い漁業経営を実現するため、スマート機器の導入を推進するとともに、高鮮度保持設備や省力化機器等を貸与
- ③ 漁村の活性化に向けた「海業」の推進  
漁港施設を活用し、海や漁村が有する価値や魅力を活かした「海業」を推進するため、認定事業者が決定した丸山漁港で漁港施設修繕等の支援を行うとともに、居組漁港では活用推進計画の策定と事業者公募に向けた取組を推進



イカナゴの肥育試験の囲い網 (淡路市)

## 重要施策10 ブランド力を活かした国内外での販路開拓

経営体の収益力の向上に向け、県産農林水産物の国内需要の創出や、海外向けプロモーションなど販路拡大の取組を一体的に進めます。

### 取組内容

- ① 県内での取組支援  
量販店での「兵庫県認証食品コーナー」の設置、実需者と生産者のマッチング、ECサイトを活用した販路開拓の支援を通じ、兵庫県認証食品の認知度向上及び販路拡大を推進
- ② 国内での販路拡大支援  
フィールドパピリオン関連の県産食材を使用したグルメフェアを全国展開の飲食店で開催するとともに、万博のSDGsの理念を踏まえ、事業者と共同で規格外品等を活用したメニューを開発
- ③ 海外向けプロモーション等の展開  
アジアやEUにおける現地バイヤー等への営業活動、海外バイヤーが集まる商談会への出展支援、海外の日本酒バイヤーを県内酒蔵に招いた商談会の開催支援、輸出商社等と連携した人材育成等により販路を拡大



海外バイヤーと県内酒蔵のマッチング  
(加西市)

## 重要施策 11 特色を活かした活力ある地域づくりの推進

農村地域の農業生産活動や集落維持機能を下支えする農村 RMO の創出を支援するとともに、定住・二地域居住を促進する取組を進めます。

### 取組内容

#### ① 農村 RMO の取組促進

農村 RMO の形成を促すため、スキル習得の研修会でリーダーとマネージャー（地域運営の企画・管理等）を養成するとともに、多様な主体と連携し、地域の将来ビジョン策定へ助言する等、効果的な伴走支援を実施

小規模集落が多い本県の地域状況を踏まえ、中山間地域のみならず、平地地域におけるモデル形成を支援

#### ② 定住・二地域居住の促進や半農半 X の実践者の拡大

「農」に携わる多様な人材確保のため、中間支援組織の取組拡大や田舎暮らしの充実に向けた農園整備支援、兵庫楽農生活センターにおいてライフスタイルやレベルに応じた農業技術・知識を学ぶ研修を実施し、地域農業を下支えする半農半 X の実践者や援農ボランティア等を育成



農村 RMO「地域マネジメント  
人材育成講座」(神戸市)

## 重要施策 12 ため池災害等の未然防止と避難対策の推進

頻発化・激甚化する豪雨に備え、農村における安全・安心な暮らしを確保するため、ため池の防災・避難対策を推進します。

### 取組内容

#### ① ため池の適正管理の推進と防災工事等の実施

決壊すると人命・財産に被害を及ぼすおそれがある特定ため池（約 8,600 箇所）を対象に定期点検を実施

早急な防災対策が必要と判定され優先度の高い 448 箇所について、改修・廃止工事を集中的かつ計画的に実施

#### ② 減災・避難対策の推進

ため池の治水活用による減災対策や、水位計・カメラによるため池遠隔監視など ICT 機器を活用した避難対策を推進



ICT の活用によるため池遠隔監視  
(淡路市)

## 重要施策 13 県民とともに育む豊かな食と「農」の充実

福祉、教育などの多様な分野との連携を強化するとともに、CSA の手法を用いた取組の支援やごはん食の啓発など農林水産業に対する消費者への理解醸成を図ります。

### 取組内容

#### ① 農福連携の取組強化

農福連携の取組拡大やマッチングを促進するため、実務的な助言ができる人材を育成する「農福連携技術支援者育成研修」を行うとともに、スキルアップのためのフォローアップ研修やネットワーク会議での優良事例の共有等を実施

農福連携に取り組む農業者に対して知識習得や農機具等の導入を支援し、農福連携モデルを育成

#### ② 学校給食での県産食材の利用促進と食農教育の推進

県産農林水産物を安定的かつ継続的に供給できる仕組みづくりのため、生産者による安定生産が可能な品種選択等のための試験栽培を支援するとともに、生産者と学校給食との調整を行うコーディネート事業者を支援し、栄養教諭等の負担を軽減する体制を構築

県産県消や有機農産物の価値を理解できるよう、アドバイザー派遣や栄養教諭向けセミナー、生産者による出前授業などを通じて食農教育を支援

#### ③ 生産者と消費者が互いに支えあえる関係づくりの推進

生産物の定期的・継続的な取引を行う CSA の手法を用いた取組を支援するとともに、市民農園やひょうごオープンファームなどの開設や改修を支援

子どもから大人まで幅広い層に米やごはん食の重要性について理解を促進するため、フォーラムの開催や未就学児を対象としたかまど炊飯体験、部活動を行う高校生を対象とした補食によるごはん食の啓発など、農業者と消費者を近づける取組を実施



生産者による学校給食での食農教育  
(南あわじ市)



## 兵庫県

編集／兵庫県農林水産部

神戸市中央区下山手通5-10-1

TEL:078-341-7711(代表) FAX:078-362-4458(総合農政課)

令和8年3月